

クレイドゥ・ザ・スカイ

森博嗣のスカイ・クロラシリーズの5冊目

...ということを知らずに、読んでしまった。

もやもやとした描写に、

語り手の主人公が記憶をたどっていることに共振するかのよう

読んでいてまどろっこしい気分になった。

詩のような描写に、純粋にきれいだなぁと。

正義とか悪とか敵とか味方とか、そういうものについて

考えさせられたりも。

シリーズのほかの巻も読んでみたくなったので、

とりあえず、図書館に予約をいれてみた。